すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2017
平成29年
9-20
No.541

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート

須坂市　墨坂神社
欅(ケヤキ)の住人

まっくろくろすけではありません。須坂市西部の神社境内にある欅の大木に住む、猛禽のフクロウの仲間、アオバズクの子供達です。
青葉が繁る頃に飛来することから、この名前がつけられました。夏まつりのこの日、拝殿へと続く参道脇の夜店の賑わいを、木々の隙間からじっと見ていました。秋になったら家族みんなで東南アジアへと旅立ちます。

■ 長野しんきん 月例調査レポート …… 2
■ 企業アンケート 人材確保 ③ …… 6
■ インタビュー 変革期の経営ビジョン …… 8
■ 北信濃 江戸時代の風景 (39) 善光寺のお戒壇巡り …… 10

あなたに元気、まちに活気。

長野信用金庫

概　況　全産業

生産は2カ月ぶりの上昇
前年同月比は11カ月連続の上昇

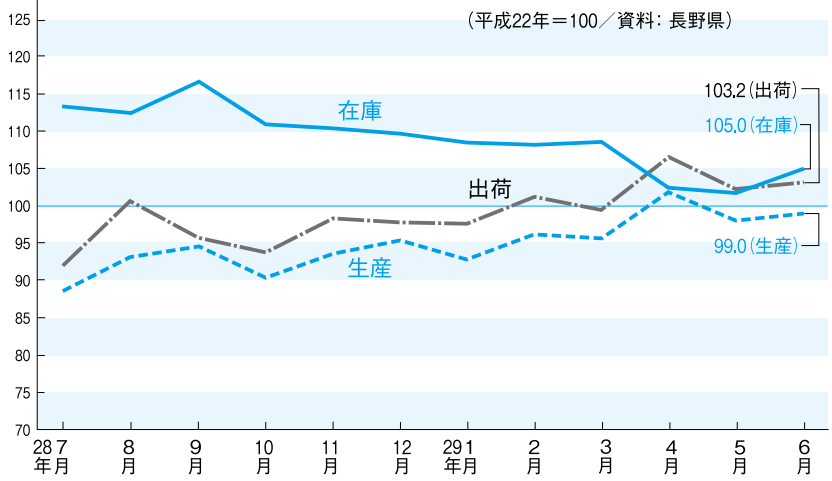
◇29年６月の長野県鉱工業指数
（速報：季節調整済指数）

生産は99.0（前月比＋1.0％）で２カ月ぶりの上昇、出荷は103.2（同＋1.1％）で２カ月ぶりの上昇、在庫は105.0（同＋3.1％）で４カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比（原指数）

生産は105.2（前年同月比＋7.9％）で11カ月連続の上昇、出荷は110.4（同＋7.0％）で11カ月連続の上昇、在庫は106.7（同▲5.4％）で23カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数（季節調整済）の推移



[生産]　上昇…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、食料品など８業種
　　低下…電気機械、化学、電子部品・デバイスなど９業種
[出荷]　上昇…輸送機械、食料品、化学など10業種
　　低下…窯業・土石製品、電子部品・デバイス、木材・木製品など７業種
[在庫]　上昇…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、電子部品・デバイスなど９業種
　　低下…紙・紙加工品、その他、金属製品など６業種

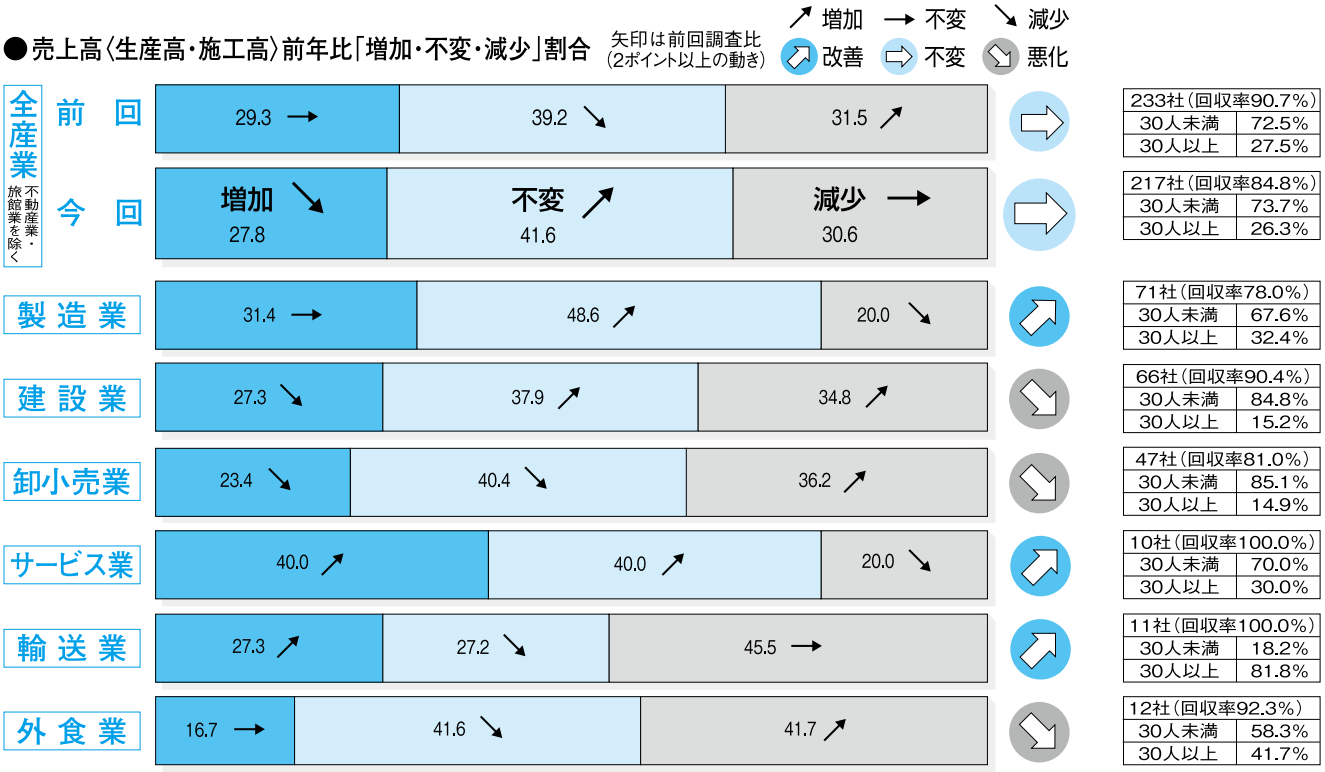
月例調査　全産業の「売上高」は横ばい

前回調査　平成29年7月

◇８月調査による［北信地区の経済状況］

全産業（不動産業・旅館業除く）の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（28％）が２ポイント減少、「減少」割合（31％）が１ポイント減少、「不変」割合（42％）が２ポイント増加し、全体としては横ばいの状況です。

●売上高〈生産高・施工高〉前年比「増加・不変・減少」割合

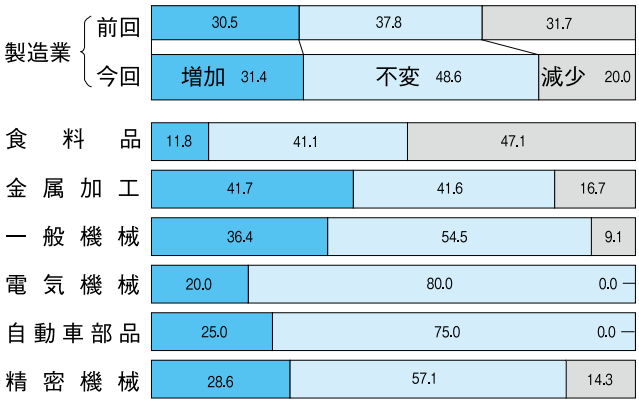


製造業　食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」金属加工・電気機械・精密機械が増加し、全体も増加

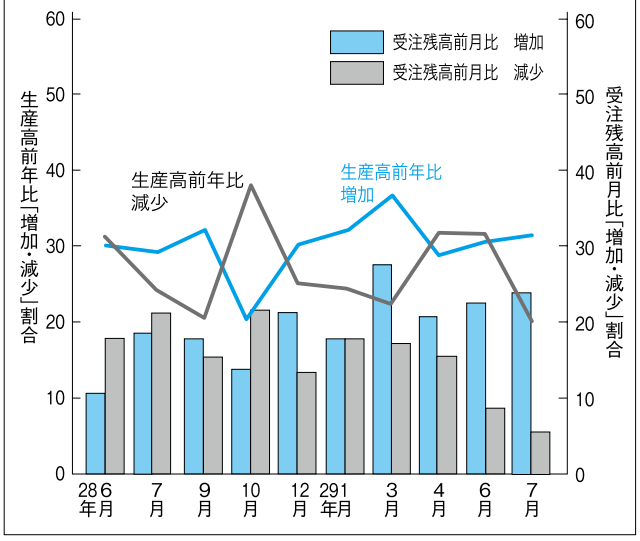
製造業の**生産高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（31％）が１ポイント増加、「減少」割合（20％）が12ポイント減少、「不変」割合（49％）が11ポイント増加、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合（％）



［業種別］	増　加	…金属加工・電気機械・精密機械
	減　少	…食料品・一般機械・自動車部品
［機械稼働］	（前回比）稼働率　下降	
	上昇割合	（24％）→ 18％
	下降割合	（11％）→ 11％
［受注状況］	受注量（前回比）増加	
	増加割合	（23％）→ 24％
	減少割合	（ 9％）→ 6％
	受注残高	（1.5カ月）→ 1.6カ月
［受注基調］	（前回比）下降	
	上昇割合	（31％）→ 20％
	下降割合	（ 9％）→ 13％

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移（％／資料：当金庫）



企業からのコメント

★労働時間の短縮や賃上げなどのニュースで賑わっているが、世の中、弱い小企業の立場を理解していない。かじ取りは難しいと思う。（一般機械）

☆★国内向けロッカーは安定しているが、家電用電子部品に陰りが出始めている。（金属製品・電子部品）

☆★夏場需要の注文は落ち着いてきた。甘酒の需要は高いが、品不足で売上は伸びない。（味噌・漬物）

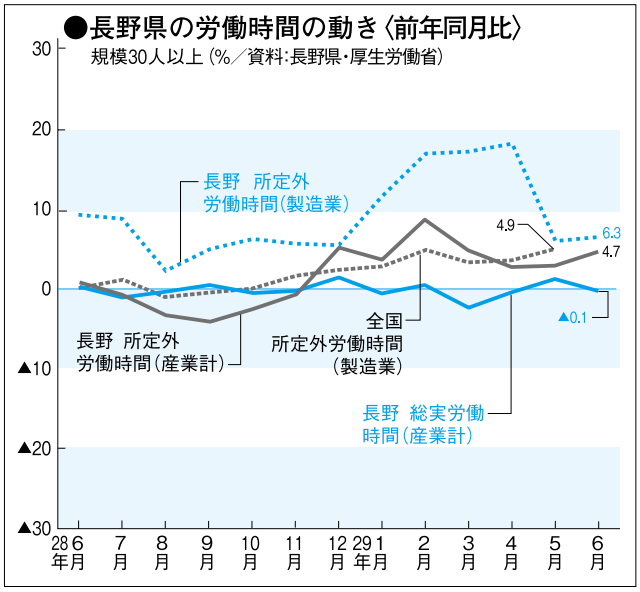
☆受注は比較的安定している。業界は大幅伸長ではないが、前年比３％増程度か。（段ボール印版・木型）

★かつてはパートの応募率も定着率も全く心配なかったが、ここ１年ほどは誠に心許ない状況。（そば）

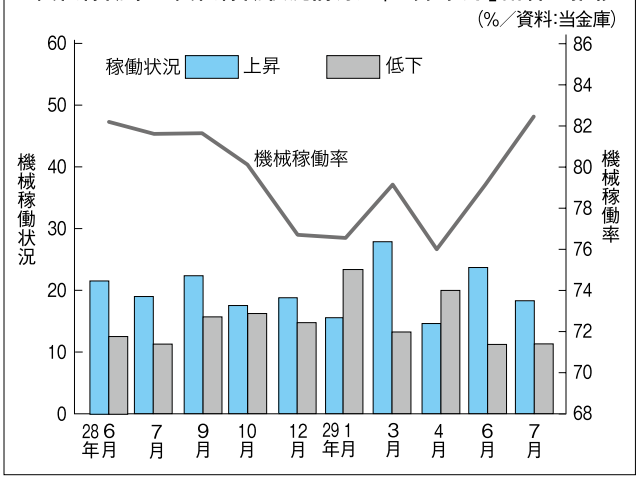
★受注は減少傾向で、きのこ業界の動向と同じである。（きのこ栽培機械）

☆このところ比較的安定している。（射出成型機）

●長野県の労働時間の動き〈前年同月比〉



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移



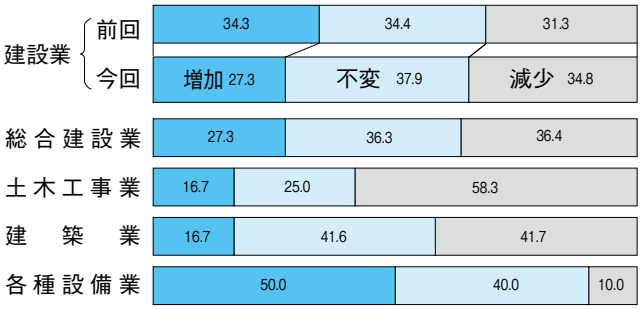
建　設　業　総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」各種設備は増加したが、全体は減少

概　　況

建設業の**施工高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（27%）が7ポイント減少、「減少」割合（35%）が4ポイント増加、「不変」割合（38%）が4ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

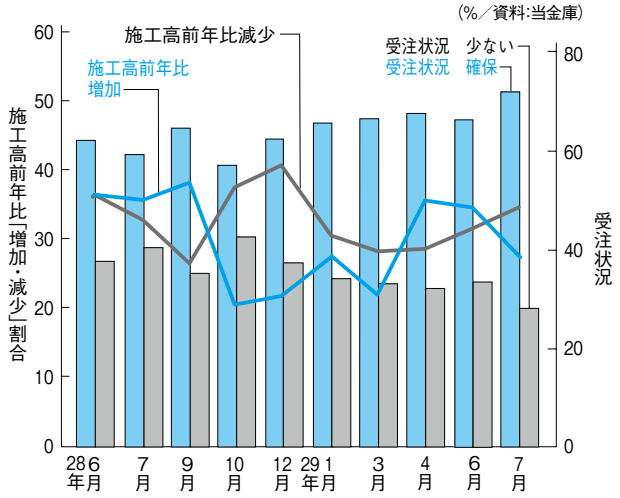


［業種別］　増　加…各種設備
　　減　少…総合建設・土木工事・建築

［受注状況］　受注残高（前回比）　改善
　　「多い・適正」割合　（66%）　→ 72%
　　「少ない」割合　　（34%）　→ 28%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移

（%／資料:当金庫）



企業からのコメント

★公共土木の発注は今年度遅れ気味。好条件の工事には入札参加社が集中し競争が激しい。（総合建設業）

★新築案件がやや減少傾向。大手の低価格住宅へ流れている。（建築）

☆最近の受注物件では、受注単価の低落傾向に歯止めがかかってきたように感じている。（内装仕上工事）

★鋼材価格が上がっている。（鉄骨鉄筋工事）

4～7月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の4～7月の発注合計は、1,003.9億円（前年同期比＋42.4%）となりました。前年比プラスは、「国」の156.6億円（同＋24.0%）、「県」の162.3億円（同＋15.7%）、「そのほか」の406.1億円（同＋249.6%）で、マイナスは「市町村」の278.2億円（▲13.5%）です。

北信地区市町村の発注合計は121.5億円（同▲3.2%）で、うち長野市は48.3億円（同▲42.0%）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（平成29年7月/29年4～7月累計）

（単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱）

		29年7月	前年同月比	29年4月～7月	前年同期比
長野県	国	2,252	▲48.5%	15,659	24.0%
	県	3,711	8.4%	16,233	15.7%
	市町村	6,427	▲16.3%	27,815	▲13.5%
	そのほか	2,218	25.6%	40,608	249.6%
	合　計	14,608	▲15.3%	100,389	42.4%
北信	市町村	2,162	▲45.6%	12,148	▲3.2%
	(内長野市)	1,487	▲35.1%	4,826	▲42.0%

4～7月の新設住宅着工戸数

長野県の4～7月の新設住宅着工戸数は4,243戸（前年同月比▲0.9%）でした。持家が2,517戸（同▲2.7%）、貸家が1,235戸（同＋2.7%）、分譲が478戸（同▲2.6%）、給与が13戸（同＋1,200.0%）です。

北信地区の4～7月の新設住宅着工戸数は1,169戸（同▲12.2%）でした。持家が718戸（同▲7.0%）、貸家が322戸（同▲3.9%）、分譲が126戸（同▲43.8%）、給与が3戸（同＋200.0%）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数（平成29年7月/29年4～7月累計）

（資料:長野県）

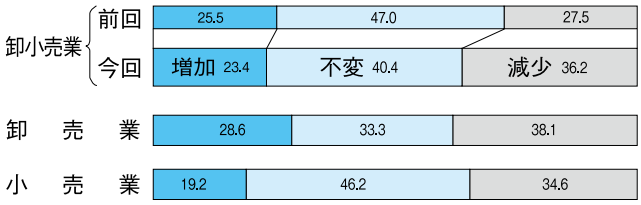
		持　家	貸　家	分　譲	給　与	合　計
北信地区	7月	169戸	94戸	28戸	2戸	293戸
	(内長野市)	95戸	81戸	18戸	2戸	196戸
	前年同月比	▲27.8%	14.6%	▲51.7%	――	▲21.7%
	(内長野市)	▲30.1%	9.5%	▲30.8%	――	▲16.9%
	4～7月	718戸	322戸	126戸	3戸	1,169戸
	前年同期比	▲7.0%	▲3.9%	▲43.8%	200.0%	▲12.2%
長野県	7月	602戸	345戸	103戸	6戸	1,056戸
	前年同月比	▲16.4%	▲9.7%	▲12.7%	――	▲13.4%
	4～7月	2,517戸	1,235戸	478戸	13戸	4,243戸
	前年同期比	▲2.7%	2.7%	▲2.6%	1,200.0%	▲0.9%

卸小売業　卸売業、小売業

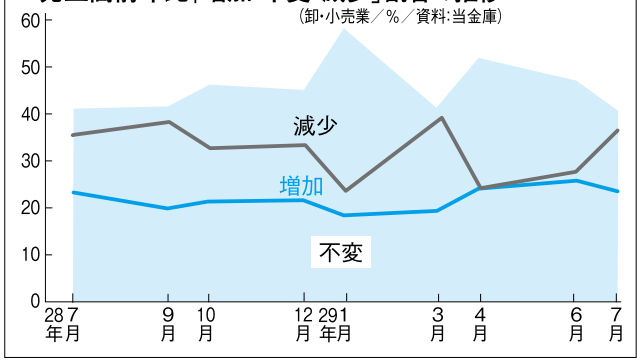
「売上高」卸売・小売ともに減少

卸・小売業の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（23％）が２ポイント減少、「減少」割合（36％）が９ポイント増加、「不変」割合（40％）が７ポイント減少し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移



［業 種 別］　**減少**…卸売業・小売業

7月の消費者物価指数（長野市）　平成27年基準＝100

◇総合指数（確報値）……100.2（10カ月連続のプラス）
（前月比▲0.3％、前年同月比＋0.6％）
上昇…「諸雑費」「家具・家事用品」「住居」「教養娯楽」
下落…「被服及び履物」「食料」「光熱・水道」

◇生鮮食品を除く総合指数…100.2（７カ月連続のプラス）
（前月比▲0.1％、前年同月比＋0.7％）

企業からのコメント

★大手スーパーのネット注文宅配や生協の食品宅配などにシェアを奪われている。　（生鮮食料品小売）
★野菜の価格安が続いており、売上が厳しい。暑さが続き、西瓜の売れ行きは良い。　（青果物卸売）
★メーカーなどは年々在庫を抱えたがらず、必要な分だけ仕入れる傾向になってきた。　（健康食品卸）
☆★前半は猛暑でエアコンなどが伸びたが、後半は天候不順で、予定より少し下方に。　（家電小売）
☆少しずつ電話の鳴る回数も増えつつある。
（機械工具卸売）

サービス業　サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送が増加、外食は減少

サービス業　売上高前年比「増加」割合は３ポイント増加の40％、「減少」割合は５ポイント減少の20％、「不変」割合は３ポイント増加の40％と、売上は増加しています。

輸送業　売上高前年比「増加」割合は９ポイント増加の27％、「減少」割合は横ばいの46％、「不変」割合は９ポイント減少の27％と、売上は増加の状況です。タクシーは横ばい、運送は増加の状況です。

外食業　売上高前年比「増加」割合は１ポイント増加の17％、「減少」割合は３ポイント増加の42％、「不変」割合は５ポイント減少の42％と、売上は減少しています。

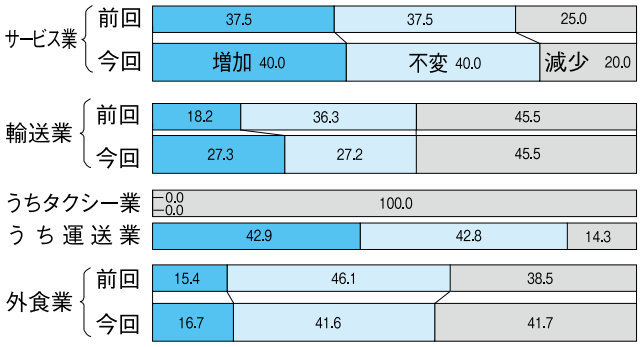
観光（旅館）業　入込数は平均で前月比70ポイントの増加、前年同月比は３ポイントの減少で、宿泊利用は持ち直しています。

不動産業　需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は14ポイント増加の64％、「引合いやや増加」は11ポイント減少の９％でした。

企業からのコメント

★長野は晴天でも、顧客の居住地が大雨のために、宿泊のキャンセルなど集中豪雨の影響がある。　（観光）
☆土日と「海の日」が続いた３連休のおかげで、遠方から多数の宿泊客が見えた。　（観光）
☆★夏場の繁忙期で荷動きは改善しているが、燃料価格の上昇や人手不足に伴う人件費アップによって収益面は前年同月より厳しい。　（運送）
★材料費は上昇傾向だが、価格転嫁は難しい。　（飲食）

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



非正規社員の比率 「増加している」6% 「減少している」7%
従業員数の変動 「増加させる」32% 「減少させる」5%

企業アンケート 人材確保 ③ 29年6月調査

非正規社員の比率 「増加している」が６％、「減少している」が7％で、８割の企業は「変わらない」と答えています。

従業員数の変動 ３社に１社が「増加させる」、５％が「減少させる」で、半数強の企業は「変えない」としています。

非正規社員の比率
〈従業員規模による差〉
「増加」10% 30人以上 「減少」12%
「増加」 5% 30人未満 「減少」 5%

「全従業員に占める『非正規社員の比率』は変化しているか」を聞きました。

「増加している」（６％）と「減少している」（７％）は拮抗（きっこう）し、「変わらない」は８割でした。

従業員規模で比べると、30人以上は「増加している」（10%）、「減少している」（12%）ともに30人未満より５～６ポイント高くなりました。

30人未満は「変わらない」（81%）が30人以上より７ポイント高く、変化の幅は30人以上より小さくなっています。

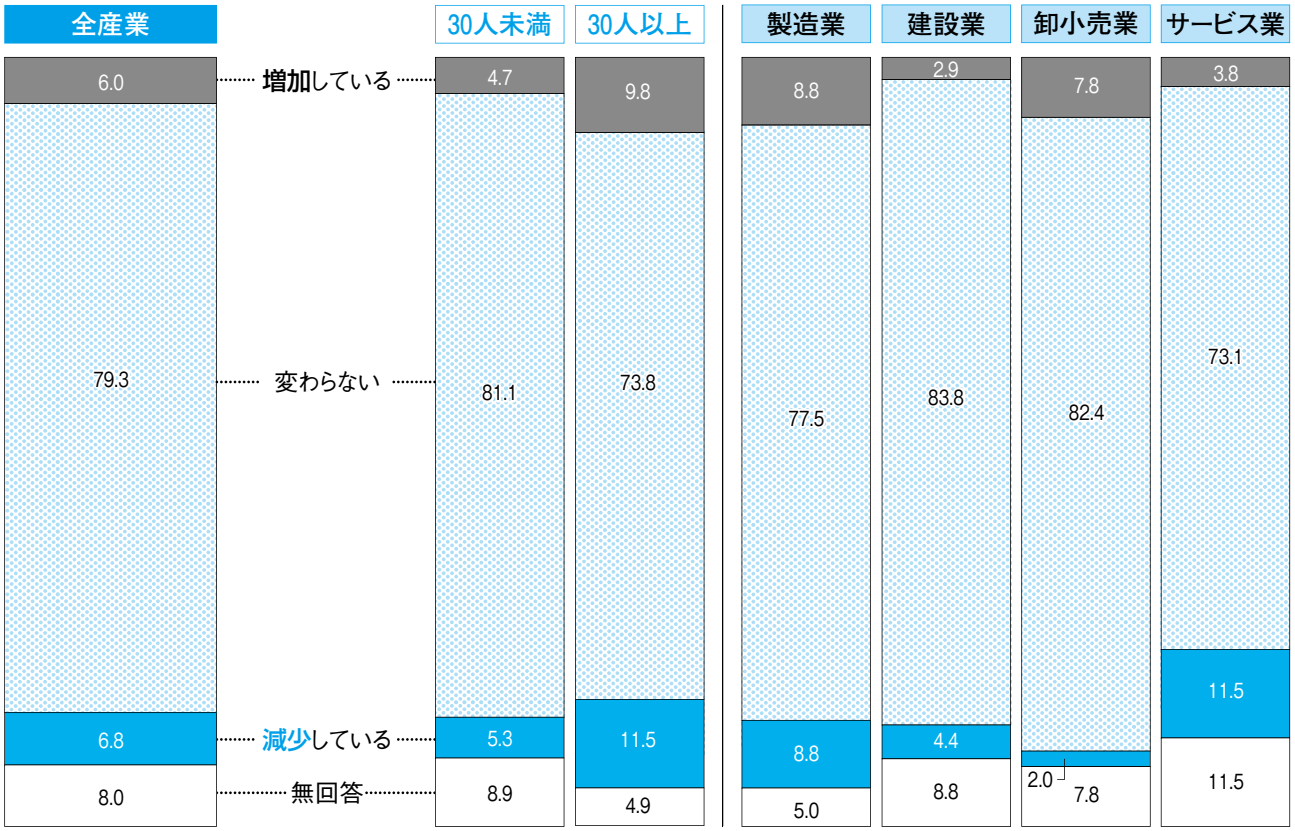
業種別
「増加」9% 製造業 「減少」 9%
「増加」8% 卸小売業 「減少」 2%
「増加」4% サービス業 「減少」12%
「増加」3% 建設業 「減少」 4%

◇４業種

製造業 「増加している」（９％）は他業種に比べ最も高くなりました。「減少している」（９％）はサービス業に次いで高くなっています。

建設業 「変わらない」（84%）は他業種に比べ最も高くなりました。「増加している」（３％）は他業種

●全従業員に占める「非正規社員の比率」は変化しているか（%）



に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「増加している」（８％）は製造業に次いで高くなりました。「減少している」（２％）は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業　「減少している」（12％）は他業種に比べ最も高くなりました。「変わらない」（73％）は他業種に比べ最も低くなっています。

従業員数を変動させるか

〈従業員規模による差〉

「増加」51％ 30人以上 「減少」8％
「増加」26％ 30人未満 「減少」4％

「今後１～２年のうちに『**従業員数を変動させる**』ことを考えているか」を聞きました。

３社に１社近くが「増加させる」と答え、「減少させる」は５％、「変えない」は半数強でした。

従業員規模で比べると、30人以上は「増加させる」（51％）が30人未満より25ポイント高く、「減少させる」（８％）も同じく５ポイント高くなっています。

30人未満は「変えない」（57％）が18ポイント、30人以上より高くなり、こちらも変化の幅は30人以上より小さくなりました。

業種別

「増加」38％ 建　設　業 「減少」3％
「増加」37％ サービス業 「減少」4％
「増加」28％ 製　造　業 「減少」6％
「増加」26％ 卸小売業 「減少」6％

◇４業種

製造業　「減少させる」（６％）は他業種に比べ最も高くなりました。「変えない」（56％）は卸小売業に次いで高くなっています。

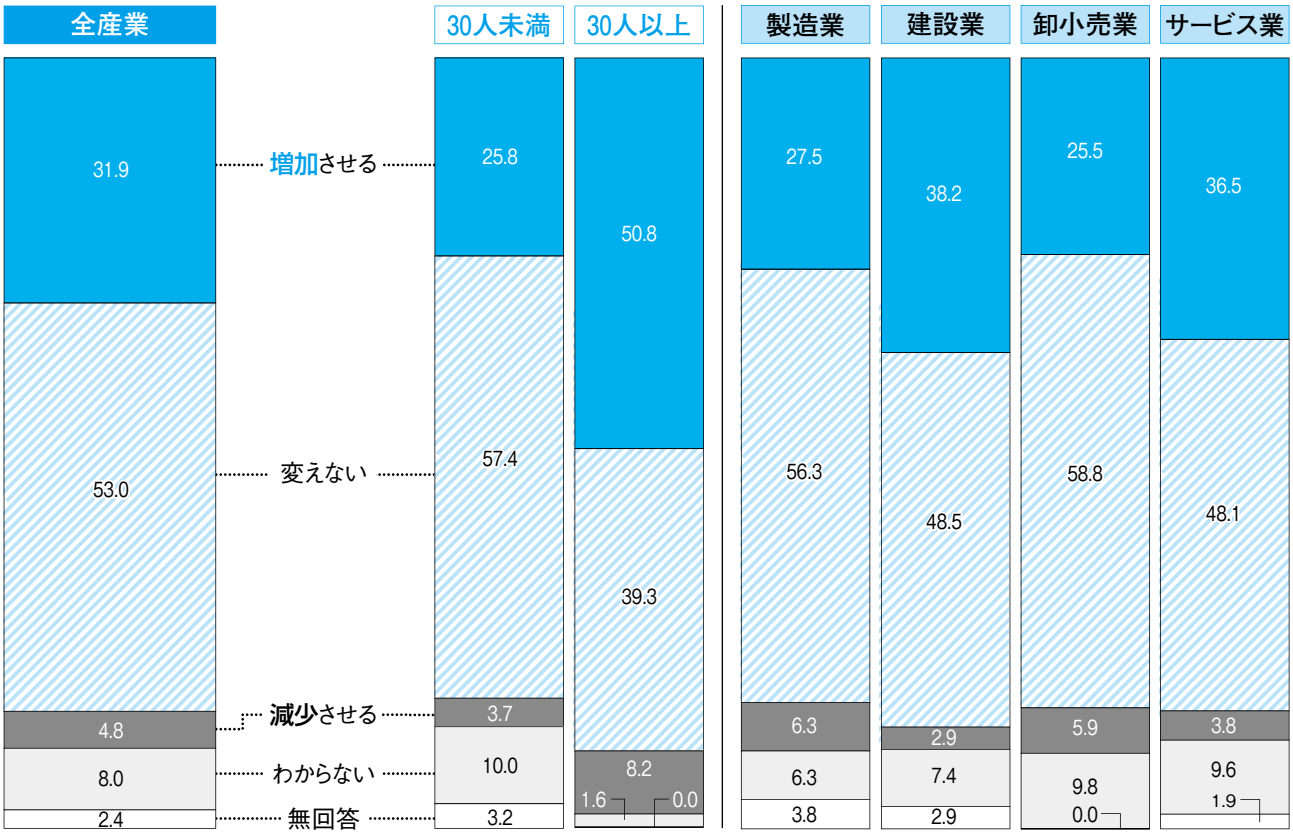
建設業　「増加させる」（38％）は他業種に比べ最も高くなりました。「減少させる」（３％）は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「変えない」（59％）は他業種に比べ最も高くなりました。「増加させる」（26％）は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業　「増加させる」（37％）は建設業に次いで高くなりました。「変えない」（48％）は他業種に比べ最も低くなっています。

◇10.20～12.20は「ＩＴ活用」を予定

●今後1～2年のうちに「従業員数を変動させる」ことを考えているか（%）



インタビュー

変革期の経営ビジョン

顧客の要求や社会ニーズに応え雇用を生み地域に貢献したい

セラテックジャパン株式会社
代表取締役社長　平林明さま

●会社の創業や設立に関して伺います…

1968年の創業当時は、今のようなセラミックではなく、樹脂成型の加工の下請というかたちで、家族だけで始めたようです。しかし、なかなか軌道に乗らなくて、樹脂の加工をやりながら、セラミックス関係に進出したのは1972年頃、これから伸びていくパソコンや半導体に携わってみないかという話があって始めたそうです。樹脂よりも堅実に伸びていくという実感を得て、1975年に株式会社平林として法人化し、セラミックスの切断加工からスタートしました。

●社長になられた経緯について…

私の祖父が創業し、1972年から父がセラミックス加工を始め、法人化した後も祖父が社長でしたが、現場や実質の責任者として父が取り仕切ってここまで大きくしました。父は幾多の艱難辛苦を乗り越え、1986年に社長となりました。私と父は幼い頃に離れており、話をする機会も年に数回程度で、会社の事について話をすることはありませんでした。私が高校生の時、大学で何を学べば良いかを相談したことがありましたが、「お前の好きなことをやれ」と言われ、なんだか突き放されたような気持ちになったことを思い出します。それから、自分の道を行こうと理学部の道に進みました。大学院まで進み、就職先も県外へ出て、父とは違う業種に進みました。社会に出てからは次第に父との距離も縮まり、仕事や経営の話を聞くにつれて父の経営する会社に興味が湧いてきました。そして、父の誘いもあり、実家の事も考え、長野に戻ってきたわけです。

私もまだ若く、経営に少しでも携われるという安易な気持ちで戻って来たわけですが、最初は現場をやりながら、徐々に経営に関わる仕事に就かせてもらいました。入社したのは11年前の2006年、社長になったのは2014年９月ですので、３年になるところです。

●社長になられて取り組まれたことは…

父の代で会社が大きくなってきたのですが、父は２代目とはいえ、創業者気質で細かいことはあまり気にせず、行くときは一気にガンガンと行くタイプでした。その少し“どんぶり勘定”の部分を私の視点で見直し、強くしていこうと力を入れてやってきました。会社は大きくなってきたけれども、社員の所得や会社の利益などの経営指標は決して満足できる数字ではなく、何とかつないで、金融機関の助けもあって大きくなってきたのですが、経営基盤としては脆弱でした。リーマンショックなど景気変動の波も経験しましたので、そういった部分を重点的に見てきました。

●若手社員を積極的に採用されていますが…

若手社員を積極的に採用してきたのは、長く働いてもらいたいからです。経験はなくても、まだ何も染みついていない、これから頑張る意欲がある人を採りたいという思いです。以前は中途採用で40・50代の人が多く居たのですが、振り返ってみると、その人たちは、前職の経験を活かしたい思いなど、他の社員と同じベクトルにならないことや、会社の文化に馴染めないところもあって、定着率も良くありませんでした。

●若手社員のモチベーションを上げる工夫を…

社員の平均年齢は現在35歳ほどです。私もまだ若いですし、経営の立場も長くなく、現場の考え方が基本にあるので、若手社員も私に言い易いでしょうし、私も敏感に感じ取るようにして、改善できることは変えています。基本的には給料が安定していて、毎年少しずつでも会社の成長と共に伸びていくようにしたいですし、働く環境や長く働ける仕組の改善を重点的にやってきました。

●具体的な施策をお聞かせください…

いろいろあります。その特質は、決して社員を甘やかすために整備するのではなくて、その施策

が仕事に結び付き、お客さまに喜んでもらえる。その結果、自分たちがいい環境で働けたり、所得に反映されたりするわけですから。周りの人に喜んでもらえると、自分たちに返ってくることを説明して、そういう仕組を構築してきました。

具体的には、大切にしているのは環境整備という、一般的に「５Ｓ」と呼ばれているものを重視し、それに対する取組を全チームそれぞれに評価し、それに対してインセンティブを付ける。それをもとに各チームがコミュニケーションを深めるために食事会や飲み会の機会を会社が与え、必ず実践してくださいというかたちでやっています。また、日々の仕事の改善や、会社が良くなるための改善を「改善提案書」として会社に提出し、改善委員会で審査・評価して点数を付け、そこにもインセンティブを与えています。

あと一つ、サンクスカードという、感謝の気持ちを書面にして伝える仕組があって、その提出状況を評価して、またインセンティブを与える。そのインセンティブはコミュニケーション費用というかたちになって、コミュニケーションを深めるためなら、ボウリングやカラオケなど何でもよく、飲み会なら、タクシーや代行代も含め全て会社が負担するから自由にやっていいと。惜しみなく、コミュニケーションを重視する仕組があり、これが若手のモチベーションにもなっていると思います。

加工現場風景、創業期からの切断機が今も活躍する

●セラミックスなどの製品にはどんなものが…

当社は、素材メーカーと部品デバイスメーカーの中間に位置し、「提案型の加工サービス」を提供している加工専門メーカーです。加工素材は、各種セラミックス、ガラス、石英、機能結晶などで、スマホ、自動車など、様々な電子機器に当社が加工した素材が使われています。

●今後の方針や将来の夢などお聞かせください…

この会社は祖父から父へとつないで、規模的に170名と大きくなり、地域に対して影響も大きくなってきているので、そういう意味では、重要な立場になってきていると私は認識しています。

ただ規模を維持しようとする考え方だと、難しくなると思いますので、お客さまの要求とか、世の中のニーズに応えていこうとすると、それなりの規模・かたちになっていくと思います。期待に応えて、雇用を新しく生み出していければ、結果的に、より地域社会に貢献できると思います。

それで、社員の所得も上がり、地域に対して買い物をしたり税金を納めたり、いろいろな購買業者なんかも潤えば、存在価値も高まっていくのではないかなと。そのような夢というか、そういった方向で動いていきたいと思っています。

●事業の概要

設　立　1975（昭和50）年
資本金　10,000万円
代表者　平林　明
従業員　175名（男105名・女70名）パート、派遣社員含む
業　務　電子・光学材料の精密一貫加工サービス
事業所　長野市篠ノ井岡田500
ＵＲＬ　http://www.crtj.co.jp/

●沿革

1968（昭和43）年　平林製作所創業
1972（昭和47）年　電子材料の精密切断部門を開設
1975（昭和50）年　同上を分離して株式会社平林を設立
1992（平成４）年　セラテックジャパン株式会社に社名変更
1997（平成９）年　MC（ミニカンパニー）制経営の運用開始
2015（平成27）年　ものづくり大賞NAGANO2015「大賞」
2017（平成29）年　はばたく中小企業・小規模事業者300社

北信濃 江戸時代の風景

(39) 善光寺のお戒壇巡り

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

奇妙な絵

善光寺本堂で、内陣券を買って内陣に入り、本尊をまつる瑠璃壇下の地下の回廊（戒壇）を巡るのが、お戒壇巡りです。

下の左の図は、長谷川雪旦（1778～1843）が描いた善光寺のお戒壇巡りです。本堂の床下に入口があって、人々が１列に並んで入っていきます。上部には「本堂　朝夕本堂の椽（えん）の下を、念仏を唱えくるりくるり廻る。椽の下闇（くら）き所につゞく。人の帯へつかまりて行（ゆく）」と書いてあります。

善光寺のお戒壇巡りの入口は、実際には屋内にあります。それにもかかわらず、ここでは屋外から直接入るように描かれています。人物なども生き生きと描かれているので、どう見ても現実の１場面としか見えません。そのためこの絵を見て、江戸時代は今と違い、お戒壇巡りの入口が本堂の外にあったと誤解してしまいそうです。

しかしこの絵をよく見ると、現実の善光寺本堂の床下とは違っています。実際の本堂の床下には白漆喰（しっくい）で固めた亀腹というものがあるのですが、ここでは板壁のように描かれています。この絵が実際の善光寺本堂を写したものではないことが分かります。

『続膝栗毛』の絵

長谷川雪旦は天保２年（1831）の秋に東北地方を旅し、越後から信濃に入り、北国街道・中山道を通って江戸に帰りました。その間に描かれた『北国一覧写』の絵を見ると、実際には訪れていないはずの浅間温泉や木曽の桟（かけはし）の図が含まれています。雪旦は善光寺に参拝したものの、お戒壇巡り

善光寺のお戒壇巡りの図（左『北国一覧写』、右『続膝栗毛』）

は体験しなかったのでしょう。そのため想像で描いて、こんな不思議な絵になってしまったのではないでしょうか。

右の図は十返舎一九の『続膝栗毛』に描かれた、善光寺の戒壇巡りの図です。弥次さんと喜多さんの２人は、東海道を旅した後、木曽から善光寺を通って江戸に帰ったのです。この絵も清水の舞台の下のような場所を描いていて、写実的ではありません。雪旦は、この『続膝栗毛』の絵を念頭に置いていたかもしれません。

信貴山朝護孫子寺（奈良県）の戒壇巡り入口（信貴山朝護孫子寺提供）

各地にあるお戒壇巡り

戒壇とは、一般的には僧になる人に戒律を授ける施設のことで、善光寺のように地下の回廊を指すのは異例なことです。善光寺の戒壇の始まりについては、天台宗を開いた伝教大師（767～822）が善光寺に参詣した折に設置したとも伝えられていますが、実際のことはよく分かっていません。

お戒壇巡りは善光寺の信仰と深く結びついた儀礼であるため、全国各地にある善光寺の中には、地下に回廊を設けて、お戒壇巡りを行っている所が少なくありません。長野県内では元善光寺（飯田市）でお戒壇巡りが行われています。東京でも、青山善光寺（港区）や小石川善光寺（文京区）といった江戸時代からの歴史のある善光寺には地下に戒壇の設備があって、お戒壇巡りをすることができます。（通常は非公開）

こうしたお戒壇巡りは善光寺特有のものではなく、信貴山朝護孫子寺（奈良県）、熊谷寺（埼玉県熊谷市）、谷汲山華厳寺（岐阜県）などにもあります。また、胎内めぐりなどと称する寺もあります。

お戒壇巡りの怪異

こうした暗黒の闇を通過する儀礼は、宗教的には冥界（死後の世界）を体験する行為と説明されています。そのため、お戒壇巡りの最中に非日常的な怪異を体験したといった話が、しばしば語られてきました。嘉永２年（1849）に出版された『善光寺道名所図会』には、「放辟邪侈なる人は此所にて犬となり、又怪異ありといふ」（自分勝手にふるまったり、不正な考えでおごり高ぶったりする人は、ここ（戒壇）で犬になり、また怪異があるという）と書いてあります。

明治11年（1878）に出版された『善光寺繁昌記』には、犬ばかりでなく、タコやネズミになった話を老人がしている場面があります。

三重県菰野町には、次のような話が伝えられています。８人連れで善光寺に参詣したところ、境内で１人が行方不明になった。その人は素行の悪い人で、しばらく犬にされていたのだそうです。

明治時代は子どもの遊び場

富士見高原療養所の院長であり作家であった正木不如丘（1887～1962）は、長野市で生まれ育ちました。大正12年（1923）に発表した『三太郎』は、自分の少年時代の体験をもとにした小説です。それによれば、主人公の三太郎少年は善光寺のお戒壇巡りを遊び場にしていました。戒壇から出られなくなった友人の騒動などが語られています。

10月号は「善光寺門前の旅籠屋」の予定です。

日本人の道徳観 ③ 生活者

品格・道徳観を持ち続けるための有効な方策

「家庭でのしつけ」77%
「学校での道徳・倫理教育」49%
「地域ぐるみでのしつけ」27%

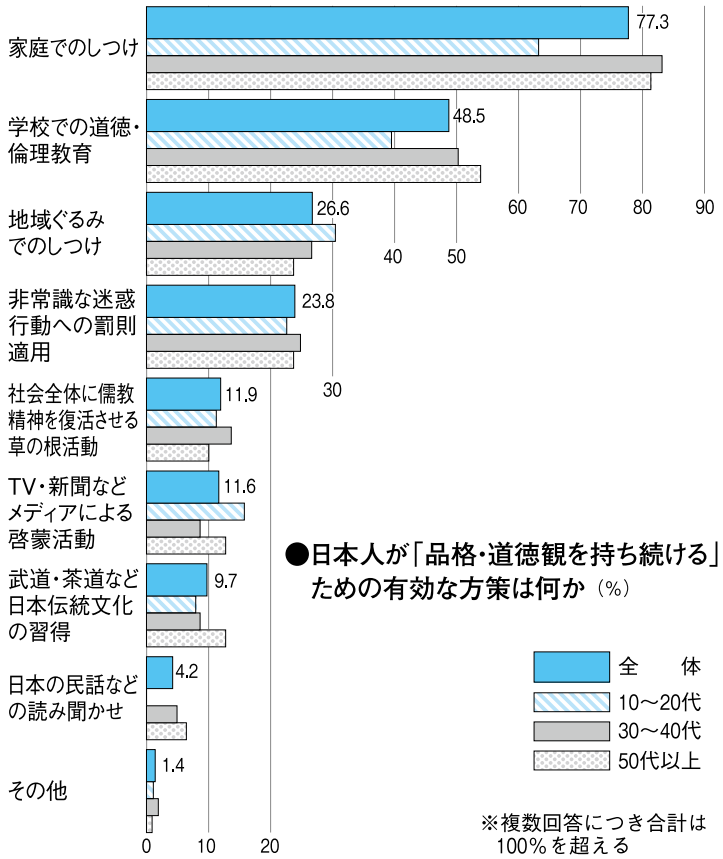
「日本人が品格・道徳観を持ち続けるための有効な方策は何か」を聞きました。

１位の「家庭でのしつけ」(77%)、２位の「学校での道徳・倫理教育」(49%)は、男女・世代別ともに順位は同じでした。３位の「地域ぐるみでのしつけ」(27%)と４位の「非常識な迷惑行動への罰則適用」(24%)は、男女・世代によって入れ替わっています。

「地域ぐるみでのしつけ」が３位になったのは女性、10～20代、30～40代。「迷惑行動への罰則適用」が３位になったのは男性のみ、50代以上は同率３位でした。

ほかに「儒教精神を復活させる草の根活動」「メディアによる啓蒙活動」「武道・茶道など伝統文化の習得」が２ケタとなりました。

〈当金庫・29年６月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内［10月］

(注)上の店名は開催場所、下の（　）内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
10月 4日	水	若槻支店（城北支店）	東長野支店（柳原支店）	10月18日	水	石堂支店（伊勢宮支店）	七瀬支店（南支店）
5日	木	稲荷山支店（屋代支店・埴生支店）	上山田支店（戸倉支店・坂城支店）	19日	木	篠ノ井支店（川柳支店）	松代支店（更北支店）
6日	金	中野支店（小布施支店）	山ノ内支店（飯山支店）	23日	月	大門町支店（桜枝町支店）	飯綱支店
11日	水	長池支店（大豆島支店）		24日	火	本店営業部	古里支店（吉田支店）
12日	木	権堂支店（善光寺下支店）	川中島支店（川中島駅前支店）	26日	木	本部	
16日	月	須坂支店（墨坂支店・太子町支店）	豊野支店	30日	月	本部	

●10月の「しんきん事業相談会」は10月４日㈬です

長野信用金庫　総合企画部
本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹
長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●